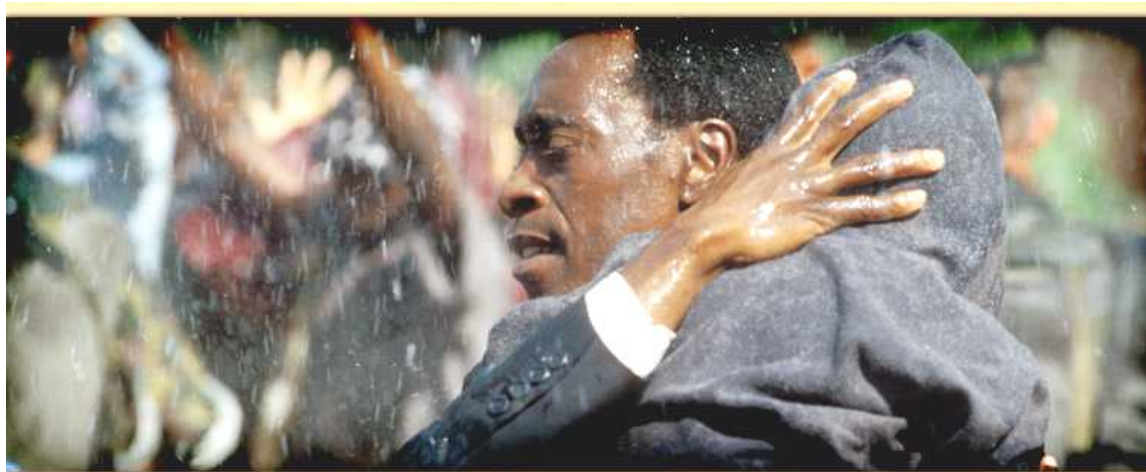


映画「ホテル・ルワンダ」応援キャンペーン



「ホテル・ルワンダ」とは？

映画「ホテル・ルワンダ」とは、1994年のルワンダ虐殺時に、虐殺を逃れてきた1200人の人々をかくまった男の物語である。100日間で100万人が殺されたといわれるルワンダ虐殺。しかし国際社会はこの惨劇を放置した。そして一人の男の良心と勇気が、殺されゆく運命にあった1200人の命を救うことになる。のちに「アフリカのシンデラー」と言われることになるこの男の名は、ポール・ルセサバギナ。これは真実の物語である。

日本公開版公式サイト：<http://www.hotelrwanda.jp/> 映画の内容説明、予告編映像、上映館の案内などがあります
映画に関するお問合せは(株)メディア・スーツまで(Tel.03-5428-1079)

「ホテル・ルワンダ」応援キャンペーンの内容

アフリカ平和再建委員会(ARC)は、本作品の舞台であるルワンダの虐殺を契機に活動を始めました。虐殺から10年以上が過ぎ、世界はルワンダのことを忘れつつあります。しかしいまだに多くの人々の心にも、社会にも、虐殺による傷跡は残っています。ARCは「ホテル・ルワンダ」を応援することで、多くの方にルワンダの虐殺について、そして虐殺を乗り越えて生きていく人たちについて知っていただきたいと思ひます。

【キャンペーン対象品のご紹介】

Aコース 「ホテル・ルワンダ」チャリティ前売り券

一枚1500円(送料は別途いただきます)です。金額の10%がARCの支援活動に充てられます。

Bコース 「ホテル・ルワンダ」チャリティ前売り券 with パナナリーフカード

ルワンダの民芸品「パナナリーフカード」を一枚、前売り券とセットで販売します。

一セット1800円(送料は別途いただきます)です。金額の25%がARCの支援活動に充てられます。

注文方法

- ・ E-mail (hotelrwanda@arc-japan.org)にてお申し込みください。
- ・ コースおよびセット数、お名前、送付先住所・電話番号をご記入の上、送信してください。
- ・ キャンペーン対象品をお送りする際に「郵便振替口座振込用紙」を同封いたしますので、最寄りの郵便局にて代金をお振込みください(振り込み手数料はご負担ください)。

「ホテル・ルワンダ」は、こちらの映画館で上映されます！（「ホテル・ルワンダ」公式HPに出ています！）

都道府県	劇場名	電話番号	公開日
東京	シアターN渋谷	03-5468-2592	1月14日(土)
神奈川	川崎チネチッタ	044-223-3190	1月28日(土)
大阪	シネ・ヌーヴォ	06-6582-1416	2月公開予定
愛知	名演小劇場	052-931-1701	2月公開予定
北海道	スガイシネプレックス札幌劇場	011-221-3802	2月公開予定
兵庫	109シネマズHAT神戸	0570-011-109	2006年新春公開
京都	京極弥生座	075-221-2744	2006年春公開
福岡	シネテリエ天神	092-781-5508	2006年春公開
滋賀	滋賀会館シネマホール	077-522-6191	2006年春公開
石川	シネモンド	076-220-5007	2006年春公開
大分	シネマ5	097-536-4512	2006年春公開
新潟	シネウインド	025-243-5530	2006年春公開
宮崎	宮崎ピカデリー	0985-27-0596	2006年春公開
沖縄	桜坂劇場	098-860-9555	2006年春公開
広島	広島サロンシネマ	082-241-1781	2006年春公開
	シネマモード	084-923-3788	2006年春公開
福岡	シネプレックス小倉	093-512-4500	2006年春公開
熊本	シネプレックス熊本	096-375-6330	2006年春公開

「ホテル・ルワンダ」関連イベントの紹介

ポール・ルセサバギナ氏来日シンポジウム

「今、アフリカで何がおこっているのか

～映画『ホテル・ルワンダ』のメッセージ」

日時：2006年1月6日(金) 15:30～20:00

「ホテル・ルワンダ」上映会つき

場所：有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F

主催：NPO 法人ピースビルダーズ・カンパニー

株式会社メディア・スーツ

『ホテル・ルワンダ』日本公開を応援する会

後援：朝日新聞社、アムネスティ・インターナショナル

ル日本、UNICEF 日本事務所、国際協力機構(JICA)

協力：UNHCR 駐日事務所

出演者：ポール・ルセサバギナ(映画主人公モデル)

松本仁一(朝日新聞記者)

篠田英朗(ピースビルダーズ・カンパニー代表)

広島大学平和科学研究センター助教授、他

使用言語 = 日本語 / 英語 (通訳有)

参加費：無料

ストップ子ども兵士アクション - 元子ども兵士チャイナ・ケイテツツィさん来日講演



ARC「ストップ子ども兵士アクション」キャンペーンの関心喚起のための今年のイベントとして、ウガンダ元少女兵士のチャイナ・ケイテツツィさんの講演を、11月21日(月)に龍谷大学で、12月9日(金)に早稲田大学で行った。元子ども兵士の講演ということで、学生だけでなく大学の講師や教授の方々も参加してくれた。

彼女の話は、実際に今現在戦争状態にある国々の子ども兵士

の言葉を代弁し、また、彼女ら・彼女らが何を望んでいるかを伝える講演であった。彼女の残した言葉でとても印象に残ってい

る一言がある。「私の後ろには、何千もの子ども兵士がいる。私は、彼らに代わって彼らの望みを伝えている。」ただ戦争の悲惨さを伝えるだけでなく、戦争の真っ只中で自分の命をかけたがら戦っている子どもたちの望み、それは、ほかならぬ“平和な社会”、“戦争ない世界”なのである。

ただ、子ども兵士をなくすことだけで、平和な社会をつくれるのだろうか？確かに多くの子ども兵士が世界からいなくなることで一見平和に見えるかも知れないが、しかし、元子ども兵士が社会に戻る事ができるのだろうか。子ども兵士の存在が無くても、戦争や子ども兵士が存在した過去を変えることはできない。子ども兵士を二度と“生産”しない社会を構築する、そのためにはやはり社会に対するリハビリが必要なのではないか。

彼女の講演は、そのようなことを深く考えさせられた講演であった。日本にいる私たちには何ができるのだろうか と。

【入原雅久】

アフリカ平和再建委員会 (Africa Reconciliation Committee: ARC-JAPAN)

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ511

Tel/Fax: 03-3351-0892 E-mail: info@arc-japan.org

ホームページ <http://www.arc-japan.org>